

MIC Worship Service – 2023.05.07

Title: “How Do We Make Disciples?”

Text: Matthew 28:19~20

MIC 礼拝堂 - 2023.05.07

『どのように弟子を作るのか？』

聖書箇所：マタイによる福音書 28 章 19 節～20 節

¹⁸ Then Jesus came to them and said, “*All authority in heaven and on earth has been given to me.* ¹⁹ *Therefore go and make disciples of all nations, baptizing them in the name of the Father and of the Son and of the Holy Spirit,* ²⁰ *and teaching them to obey everything I have commanded you. And surely I am with you always, to the very end of the age.*”

19 それゆえ、「あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、²⁰ また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

Introduction

Today, I want to talk to you about one of the most important commands that our Lord Jesus Christ gave to His disciples before He ascended into heaven. This command is often referred to as the *Great Commission*, which sadly can easily become the *Great Omission*.

今日は、主イエス・キリストが天に召される前に、弟子たちに与えた最も重要な命令の1つについてお話したいと思います。この命令は、しばしば「大宣教命令」と呼ばれますが、実際は見過ごされることが多く、「大見過ごし命令」になりがちなのです。

As Christians, we are called to ***make disciples of all nations***. But what exactly does this mean? What is a disciple, and how do we go about making them? These are important questions that we need to ask ourselves if we are to be faithful to the command that Jesus has given us.

クリスチャンである私たちは、**あらゆる国の人々を弟子とすること**が求められています。しかし、そのことは一体何を意味するのでしょうか？弟子とは何なのか、また、弟子を作るにはどうすればいいのか？イエス様が私たちに与えてくださった命令に忠実であるためには、これらは私たち自身に問いかけるべき重要な質問なのです。

What does it mean **to make disciples**? In simple terms, it means to help others become followers of Jesus Christ. This involves sharing the good news of the gospel with others, helping them to understand and believe it, and teaching them to obey everything that Jesus has commanded. It is seeking to become more like him every day. In short, a disciple is someone who has a personal relationship with Jesus and who seeks to make him the Lord of their life.

ではまず、**弟子を作る**とはどういうことでしょうか。簡単に言うと、他の人々がイエス・キリストの信者になるのを助けるということです。これには、福音の良い知らせを他の人々に伝え、人々が良い知らせを理解し信じるように助け、イエス様が命じられたすべてのことに従うようにと人々に教えるということが含まれます。そしてまた、『人々がイエス・キリストの信者になることを助ける』ためには、日々、私たち自身がイエス様のようになりたいと求めることが大切です。つまり、イエス様と個人的な関係を築き、イエス様を自分の人生の主としようとする人のことを弟子と呼びます。

Making disciples is not just the responsibility of pastors and missionaries. It is a calling that is given to all of us who call ourselves followers of Christ. We are all called to be ambassadors of the gospel, sharing the love and truth of Jesus with those around us.

But how do we make disciples? Let me offer three key principles:

弟子を作るということは、牧師や宣教師だけにその責任があるわけではありません。キリストに従うと誓った私たち全員に与えられている命令でもあります。私たちは皆、福音の使者なのです。私たちには、周りの人々にイエス様の愛と真理を伝えるようにという使命が課されているのです。

では、私たちはどのようにして弟子を作ればよいのでしょうか？それには、次に挙げる3つの重要な原則があります。

I. First, we must be intentional.

The first step is to share the good news of Jesus Christ with others. Making disciples requires more than just casual conversations about faith. We must intentionally seek out opportunities to share the gospel and invest in the lives of others. We need to tell them about the love of God, the sacrifice of Jesus, and the hope that we have in him.

まず、弟子を作るための最初の原則として、『**私たちは意図的に目的を持って行動する必要があります**』。

I. まず、私たちは意図を持って行動する必要があります。

最初のステップは、イエス・キリストの良い知らせを他の人と分かち合うことです。弟子を作るには、信仰について何気なく会話するだけでは十分ではありません。私たちは、意図を持って福音を伝えるべきであり、他の人の人生に関わる機会を探ることが大切です。私たちは、神様の愛について、イエス様が払った犠牲について、そしてイエス様が私たちにくださる希望について、人々に伝えなければならないのです。

Acts 8:4~8 - ⁴ Those who had been scattered **preached the word** wherever they went. ⁵ **Philip went down to a city in Samaria and proclaimed the Messiah there.** ⁶ When the crowds heard Philip and saw the signs he performed, they all paid close attention to what he said. ⁷ For with shrieks, impure spirits came out of many, and many who were paralyzed or lame were healed. ⁸ **So there was great joy in that city.**

使徒の働き 8章 4-8節—4 他方、散らされた人たちは、みことばを宣べながら、巡り歩いた。5 **ピリポはサマリヤの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。** 6 群集はピリポの話聞き、その行っていたしるしを見て、みなそろって、彼の語ることに耳を傾けた。7 汚れた霊につかれた多くの人たちからは、その霊が大声で叫んで出て行くし、多くの中風の者や足のなえた者は直ったからである。8 **それでその町に大きな喜びが起こった。**

Acts 16:31~32 - ³¹ They replied, “Believe in the Lord Jesus, and you will be saved—you and your household.” ³² Then **they spoke the word of the Lord** to him and to all the others in his house.

使徒の働き 16章 31 - 32節—31 ふたりは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」と言った。32 そして、彼とその家の者全部に**主のことばを語った。**

Intentional gospel proclamation can be done in a variety of ways, such as spending time with someone, sharing our personal testimony, inviting people to church, hosting a small group, or engaging in evangelism efforts in our community.

意図的な目的を持った福音宣教とはどんなものかということ、それは、誰かと一緒に時間を過ごす、個人的な証を伝える、教会に人を招待する、少人数の会であるスモールグループを主催する、地域社会で伝道活動に従事するなど、さまざまな形で行うことができます。

ILLUSTRATION: Last Sunday, Sis. Elim here, joined our Prayer Retreat in the afternoon. A Filipina, who's not yet a Christian, happened to be here together with two other ladies. There was a time when we prayed in small groups. Sis. Elim took the opportunity to share the gospel to the non-Christian Filipina and by the grace of God, she professed faith in Christ as her Lord and Savior. I appreciate what Sis. Elim did because, the Filipina who believed in Christ, was under training and was scheduled to move to Hyogo-ken. We don't know when we will see her again. But, that was her chance to hear the Gospel.

先週の日曜日、エリム姉が、MICの礼拝後に午後から行われた『祈りの会』に参加してくれました。その時、まだクリスチャンではないフィリピン人の一人の女性が、他の2人の女性と一緒にこの教会に来てくれており、祈りの会に参加してくれました。小さなグループに分かれて祈る時間がありましたが、エリム姉はこの機会を使ってまだ信者ではないフィリピン人のその女性に福音を伝えてくれました。そしてまた、エリム姉は、神の恵みによりキリストを主とし、救い主とするという信仰をもその女性に告白してくれました。私は、エリム姉のその時の行いにとっても感謝しています。なぜなら、祈りの会によってキリストを受け入れてくれたフィリピン人のその女性は研修中であり、のちに兵庫県に転勤する予定だったからです。今度いつ、その女性に会えるのかはわかりません。でも、彼女にとっては福音を聞く良い機会となりました。

II. Second, we must be authentic.

Sharing the gospel is only the beginning. Once someone has accepted Jesus Christ as their Lord and Savior, we need to *help them grow in their faith*. This involves teaching them about the Bible, the importance of prayer and worship, encouraging them to be a part of a Christian community, and how to live a life that is pleasing to God. We need to disciple them, just as Jesus did with His own disciples.

次に、弟子を作るための二つ目の原則は、『**私たちは本物でなければならない**』ということです。

II. 第二に、私たちは本物でなければなりません。

福音を伝えることは、始まりに過ぎません。誰かがイエス・キリストを主であり救い主として一旦受け入れたら、私たちは次にその人が信仰を深めていくのを助ける必要があります。そのためには、クリスチャン・コミュニティの一員となるよう彼らを励まし、聖書について教え、祈りと礼拝の大切さについて教え、神様に喜ばれる生き方を教える必要があるのです。イエス様がご自身の弟子たちにそうされたように、私たちもイエス様のように彼らを弟子にしなければならないのです。

One of the key aspects of making disciples is modeling what it means to be a disciple ourselves. We cannot expect others to follow Jesus if we are not following Him ourselves. We need to be intentional about our own spiritual growth, seeking to become more like Jesus every day. This means spending time in prayer and reading the Bible, attending church and Bible studies, and seeking out opportunities to serve others.

弟子作りの重要な側面の1つは、『自分もまた弟子である』ということを示してあげることです。もし、私たち自身がイエスに従っていないのであれば、他の人がイエスに従うことを期待することはできません。私たちは、目的を持って自分自身を霊的に成長させ、日々、イエス様のようになることを目指す必要があるのです。なぜなら、聖書を読んだり祈ることに時間を費やし、教会や聖書勉強会に出席し、人々のために奉仕することによって、霊的に成長することができ、イエス様のようになることができるからです。

ILLUSTRATION: Apostle Paul and his fellow missionaries

ここで、使徒パウロと仲間の宣教師たちについて考えてみましょう。

2 Corinthians 6:3~4, 11~13 - ³ ***We put no stumbling block*** in anyone's path, so that our ministry will not be discredited. ⁴ Rather, as ***servants of God*** we commend ourselves in every way: in great endurance; in troubles, hardships and distresses... ¹¹ We have ***spoken freely*** to you, Corinthians, and ***opened wide our hearts*** to you. ¹² We are not withholding our affection from you, but you are withholding yours from us. ¹³ As a fair exchange—I speak as to my children—open wide your hearts also.

コリント人への手紙 第二 6章3-4節、11-13節—3 私たちは、この務めがそしられないために、どんなことにも人に つまづきを与えないようにと、4 あらゆることにおいて、自分を 神のしもべとして 推薦しているのです。すなわち非常な忍耐と、悩みと、苦しみと、嘆きの中で、

11 コリントの人たち。私たちはあなたがたに 包み隠すことなく話しました。私たちの心は広く開かれています。12 あなたがたは、私たちの中の制約を受けているのではなく、自分の心で自分を窮屈にしているのです。13 私は自分の子どもに対するように言います。それに報いて、あなたがたのほうでも心を広くしてください。

People are not looking for perfect Christians; they are looking for real ones. We must be honest about our struggles and shortcomings, and demonstrate the transformative power of

the gospel in our own lives. When we live out our faith authentically, we become a powerful witness to those around us.

人々は、完璧なクリスチャンを求めているのではなく、本物のクリスチャンを求めているのです。私たちクリスチャンは、自分の葛藤や欠点について正直に話し、自分の人生を変えてくれた福音の力を、人々に示さなければならないのです。自分の信仰に忠実に行動すれば、私たちは周囲の人々に力強い証を示すことができるのです。

III. Third, we must be patient.

ILLUSTRATION: One day George Muller began praying for five (5) of his friends. After many months, one of them came to the Lord. Ten years later, two others were converted. It took 25 years before the fourth man was saved. Muller persevered in prayer until his death for the fifth friend, and throughout those 52 years he never gave up hoping that he would accept Christ! His faith was rewarded, for soon after Muller's funeral the last one was saved.

最後に、弟子を作るため三つ目の原則は、『**私たちは忍耐強くなければならない**』ということです。

III. 第三に、私たちは忍耐強くなければなりません。

プロシア生まれで、イギリスで活躍した宗教家であるジョージ・フレデリック・ミュラーは、ある日、5人の友人のために祈り始めました。何ヶ月か後、そのうちの一人が主を信じるようになりました。10年後、他の2人が改宗し、クリスチャンになりました。そして、4人目の友人が救われるまでに25年かかりました。しかし、ミュラーは5人目の友人のために死ぬまで祈り続け、52年間、その友人がキリストを受け入れることを決してあきらめませんでした。ついに、ミュラーの死後、葬儀の後すぐに最後の一人が救われ、ミュラーの信仰は報われたのでした。

Discipling someone is not a one-time event, but a lifelong process. It involves building relationships with them, investing time and energy into their spiritual growth, and being a source of encouragement and support along the way. We need to be willing to walk alongside new believers as they learn what it means to follow Jesus, and we need to be patient with them as they make mistakes and stumble along the way.

誰かを弟子にするということは、一回限りのことではなく、生涯続く過程、いわゆるプロセスなのです。そのためには、その人と関係を築き、その人の霊的成長のために時間と労力を費やし、彼らの成長過程の中で励ましと支えになることが必要です。私たちは、新しい信者がイエスに従

うとはどういうことかを理解しなければなりません。そして、喜んで人々と共に歩み、彼らが間違いを犯したり、途中でつまづいたりしても、忍耐強く付き合う必要があるのです。

2 Corinthians 1:5~7 - ⁵For just **as we share** abundantly in the sufferings of Christ, so also our comfort abounds through Christ. ⁶If we are distressed, it is for your comfort and salvation; if we are comforted, it is for your comfort, which produces in you patient endurance of the same sufferings we suffer. ⁷And our hope for you is firm, because we know that just **as you share** in our sufferings, **so also you share** in our comfort.

コリント人への手紙 第二 1章5 - 7節-5 それは、**私たちに**キリストの苦難が**あふれているように**、慰めもまたキリストによってあふれているからです。6 もし私たちが苦しみに会うなら、それはあなたがたの慰めと救いのためです。もし私たちが慰めを受けるなら、それもあなたがたの慰めのためで、その慰めは、私たちが受けている苦難と同じ苦難に耐え抜く力をあなたがたに与えるのです。7 私たちがあなたがたについて抱いている望みは、動くことはありません。なぜなら、**あなたがたが私たちと苦しみをともにしているように**、慰めをも**ともにしている**ことを、私たちは知っているからです。

In addition to modeling what it means to be a disciple, we also need to be intentional about creating opportunities for others to grow in their faith. This can involve mentoring, discipleship groups, and other forms of intentional discipleship. It may also involve helping new believers find their place in the church and using their gifts and talents to serve others.

『弟子になる』という意味を示してあげることに加えて、私たちは、他の人々が信仰を深めることができるように、その機会を意識して作り出してあげることが大切です。信者が信仰を深める機会づくりのために、メンターと呼ばれる指導者や助言者がいたり、弟子グループがあったりと、弟子育成の形は様々です。また、新しい信者が教会で自分の居場所を見つけるのを助けたり、自分の賜物や才能を生かして他の人に奉仕したりするのを助けることも弟子を育成することに含まれます。

I repeat, making disciples is a long-term process. It takes time to build relationships, earn trust, and help others grow in their faith. We must be willing to invest the time and energy required to disciple others, even when it feels slow or discouraging.

繰り返しますが、弟子作りは長期的なプロセス、すなわち長い道のりです。人間関係を築き、信頼を獲得し、相手の信仰の成長を助けるには時間がかかります。私たちは、たとえ、時間がかかると感じたり、落胆したりしても、弟子となるために必要な時間と労力を相手のために喜んで費やさなければならないのです。

As we make disciples, we need to remember that this is not a task that we can do on our own. We need the support of other believers, who can encourage us and hold us accountable as we seek to make disciples of all nations. We also need the help of the Holy Spirit to guide us and empower us along the way. Didn't our Lord Jesus promised: *"And surely I am with you always, to the very end of the age."*? (v.20)

また、私たちが弟子を作るにあたって、それは自分一人のできる仕事ではないことを忘れないでください。私たちがあらゆる国の人々を弟子にしようとするなら、私たちに励まし、責任を持たせてくれる他の信者のサポートが必要になります。また、私たちに導き、力を与えてくださる聖霊の助けも必要です。私たちの主イエスは「見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」と、約束されました。

Conclusion/Application

Brothers and sisters, making disciples is not an optional part of our Christian life. It is a fundamental calling that we all share. It is all about growing up. It's about going to the next level. It's really living the Christian life to its fullest, as Jesus meant for us to live it.

兄弟姉妹の皆さん、キリストの弟子となることは、私たちクリスチャンにとって選択の余地はありません。弟子となることは、私たち全員が持っている根本的な召命であり、私たちは成長していかなければならないのです。そして成長すると言うことは、クリスチャンとして次のレベルに到達することを意味します。そしてそれは、イエス様が私たちにくださった、クリスチャンとしての人生を最大限に生きるということなのです。

As we go out into the world, let us be intentional, authentic, and patient in our efforts to share the love and truth of Jesus Christ with those around us. May we be faithful ambassadors of the gospel, making disciples of all nations to the glory of God. Amen

私たちクリスチャンはこの世に対して、イエス・キリストの愛と真理を周囲の人々に伝える努力をしなければなりません。そして、目的を持って意図的に福音を伝え、クリスチャンとして本物であり、忍耐強くありましょう。

私たちが忠実な福音の大使となり、神の栄光のために、あらゆる国の人々を弟子とすることができますように。アーメン。